



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
こうのとり認定こども園

令和3年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立しました。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学、翌平成20年4月に「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」を増設しました。結果、本学園は独立4年目にして、姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となりました。

そして、平成26年度には地域の子育て支援のために、既存の幼稚園の他に「このとり保育園」を開園し、幼保連携型認定こども園をスタートさせましたが、この認定こども園は、子ども・子育て支援新制度による新しい幼保連携型認定こども園として平成27年度に新たに認可を受け、既存の幼稚園と保育園を廃止し新たな「このとり認定こども園」として運営しています。

本法人は、文部科学省の認可を受け、平成28年4月1日から法人等の名称を、「学校法人近畿大学弘徳学園」から「学校法人弘徳学園」、大学名を「近大姫路大学」から「姫路大学」、短期大学名を「近畿大学豊岡短期大学」から「豊岡短期大学」に変更するとともに、法人本部所在地を豊岡キャンパスから姫路キャンパスへ移しました。

平成28年8月に文部科学省から、「姫路大学大学院看護学研究科」設置の認可を受け平成29年4月1日に開設、さらに平成30年11月に博士後期課程への専攻課程変更の認可を受け、平成31年4月に開設しました。

豊岡短期大学は豊岡短期大学姫路キャンパスの開設について厚生労働省より平成31年3月に指定保育士養成施設の認可を受け平成31年4月1日に開設、令和元年11月には、地域の子どもから高齢者まで健康と発達の向上にむけた研究、支援開発を行う「姫路大学附属健康・教育実践研究センター」を設立しました。

また、将来構想の実現のため、令和2年度に姫路大学畜産研究所設置準備室を開設し、香美町との連携協定を締結しました。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園は、近畿大学創立者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を建学の精神として、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。

この建学の精神を具現化するために、次のような教育目標をかかげております。

- 第1は、「人間は人間だけで生きているのではなく、他の生命とともに、生かされているという認識をもつこと、そしてこの思想を推進するための実践力を培う」
- 第2は、「専門職業人としての基本的な倫理観を身につけるとともに思いやりの心を培う」
- 第3は、「専門職に必要な基礎的知識及び技術を修得するとともに、創造性を培う」
- 第4は、「社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う」
- 第5は、「国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う」

II 事業計画の概要

(1) 中長期計画

法人の中長期計画の理念、目標、基本方針、主要対策は以下の通りです。

期間：令和2年から令和7年

●理念

建学の精神である

「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を実現する

●目標

I 実践的教育による学生の育成

II 質の高い研究成果の社会的還元

III 教育資源による地域貢献、企業貢献及び国際貢献

IV 教育・研究活動を維持する環境の整備

●基本方針

I-1 (1) 教育の付加価値向上

I-2 (2) キャリア教育の充実

II-1 (3) 特色ある研究によるプレゼンスアップ

III-1 (4) 地域の知的・実践的拠点として発信力向上

III-2 (5) グローバル人材の育成

IV-1 (6) 効果的な広報活動による入学志願者の増加

IV-2 (7) 財政基盤の安定化とガバナンスの強化

●主要対策

1-1 教育力の向上

1-2 教育効果の可視化

2-1 社会人力の向上

2-2 専門職への就職率向上

3-1 外部資金による研究の充実

3-2 研究成果の向上

4-1 教育・研究の地域への発信

4-2 自治体、企業等との連携強化

5-1 語学力の向上

5-2 国際交流の推進・強化

6-1 広報活動の質向上

6-2 入試制度改革

7-1 収入増加と管理経費抑制

7-2 組織改革と基幹人材育成

中長期計画とその進捗状況の詳細は、本法人のホームページに記載しております。

<https://koutoku.ac.jp/info/>

令和2年度大学評価（認証評価）結果について

姫路大学は、公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を令和2年度に受審し、大学基準に適合していると認定されました。認定の期間は、令和3年4月1日から令和10年3月31日までとなります。第3期認証評価における大学評価では、内部質保証がこれまで以上に重要視され、教育の充実と学生の学習効果の向上を図るために、全学的な教学マネジメントによる教育活動の展開が求められています。

総評では、「内部質保証に関わる組織の役割・連携を明確化してシステムを整備し、PDCAのプロセスを適切に機能させることにより、教育研究等活動の質を保証していくことが期待される」という結果でした。大学評価結果で附された提言は是正勧告が2項目、改善課題が8項目でした。

大学基準協会は、大学の改善・向上のための支援を継続的に行うため、大学評価の結果が通知されてから3年経過後の令和6年7月末日までに提言の改善に努めることを求めています。今回の認証評価結果を踏まえ、学園の中長期計画に反映させて提言に対する改善を図っていきます。

大学評価HP（姫路大学）

https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/evaluation_report/

(2) 予算編成の基本方針

令和3年度予算編成における基本方針について	
令和2年10月9日 弘徳学園 法人本部	
I. 令和3年度予算編成の基本方針	
①単年度収支の改善に努める	
②学園全体の支出は収入見込額の範囲内に抑える	
③令和3年度予算は、原則として令和2年度の各部局の予算決定額の概ね40%を削減目標とする	
④なお、予算配分の重点は、教育の質的向上と学生の就学環境・サービス機能の向上に置くので、予算申請にあたっては、「経費の費用対効果」、「緊急性」などをよく検討した予算となるよう編成する	

(3) 主な事業の目的・計画等

① 中長期計画に基づく令和3年度事業計画に係る経費は下記別表のとおりです。

別表

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
3- 1	法人本部	人事給与システムサーバの入替	3,140
3- 2	法人本部	勤怠システムのバージョンアップ	4,575
3- 3	法人本部	通信制高等学校設置申請のための開設準備	4,000
3- 4	法人本部	法人出資の株式会社設立	1,000
3- 5	法人本部	姫路大学畜産研究所(仮称)設置に伴う研究委託費	30,433
3- 6	姫路大学	姫路大学事務系ネットワーク機器・教学系サーバ更新	17,787
3- 7	姫路大学	姫路大学体育館排煙窓の駆動部取替修理	576
3- 8	姫路大学	姫路大学講義室設置用ノートパソコン入替	700
3- 9	姫路大学	姫路大学看護師国家試験対策	9,286
3- 10	姫路大学	姫路大学教員採用試験対策に伴う対策講座及び学生支援	1,590
3- 11	姫路大学	姫路大学附属健康・教育実践研究センター市民公開講座	680
3- 12	姫路大学	姫路大学グローバルゲートウェイの運営及び学生の語学留学	2,310
3- 13	姫路大学	姫路大学と香港理工大学のMOU締結および短期留学受け入れプログラムの実施	826
3- 14	姫路大学	姫路大学地域貢献連携事業	1,238
3- 15	姫路大学	姫路大学大学院博士後期課程学年進行に伴う継続事業	2,100
3- 16	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費	15,000
3- 17	姫路大学	姫路大学サッカー部の設立	4,264
3- 18	姫路大学	姫路大学通信教育事務部UniVisionシステム機器更新	5,032
3- 19	姫路大学	姫路大学通信教育事務部システム改修	1,590
3- 20	豊岡短期大学	豊岡短期大学姫路キャンパス2号棟トイレ排水管改修工事	792
3- 21	豊岡短期大学	豊岡短期大学高圧設備機器不良 第5期修繕(全5期)	1,971
3- 22	豊岡短期大学	豊岡短期大学認証評価(第三者評価)の受審	1,820
3- 23	豊岡短期大学	豊岡短期大学和花季ひろばの開催	989
3- 24	豊岡短期大学	豊岡短期大学TtLeS改修について	1,760
3- 25	豊岡短期大学	豊岡短期大学TtLeS(UniVision)サーバリプレイス	3,135
事業合計			116,594

② 中長期計画に基づく令和3年度事業計画に係る事業等の概要は下記のとおりです。

(3-3) 通信制高等学校設置申請のための開設準備

将来構想としている通信制高等学校の設置に向けて、令和3年6月までに事前相談を行い、令和3年11月に通信制高等学校設置に伴う申請書を提出する構想です。

(3-4) 法人出資の株式会社設立

積極的な法人運営を行うため、100%出資の株式会社の設立を計画しています。

この出資株式会社は、

①研究開発活動を行うための研究素材・研究対象物の保有・管理業務

②大学内の食堂等施設の運営、その他大学関連管理業務

を対象事業として行い、弘徳学園の教育・研究をサポートする計画です。

(3-5) 姫路大学畜産研究所（仮称）設置に伴う研究委託費

令和3年4月に姫路大学畜産研究所（仮称）設置を計画しています。

3カ年の研究委託計画により、美味しい牛肉がもたらす生理的効果（視覚・嗅覚・味覚）や、美味しさに関わる各種要素の検証を行い、但馬牛のおいしさを医学的に探り、地域活性化にも貢献する計画です。

(3-15) 姫路大学大学院博士後期課程学年進行に伴う継続事業

大学院後期課程は開設3年目を迎え、本研究科が実施する教育目的を達成するため、設置計画のとおり備品等の整備を行います。

(3-22) 豊岡短期大学認証評価（第三者評価）の受審

豊岡短期大学では、令和3年度に一般財団法人大学・短期大学基準協会による、認証評価（第三者評価）を受審する計画です。

(3-16) 姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費

姫路大学では硬式庭球部の強化に力を入れており、平成29年度に関西学生リーグ1部へ昇格。平成30年度から国体に連続出場し、令和元年度には全日本大学対抗テニス王座決定試合で第4位、令和2年度は、全日本学生選手権女子ダブルス準優勝に輝き、県スポーツ優秀選手賞を受賞しました。

本年度も引き続き運営と遠征も含めた業務を委託し、育成選手の強化を図る計画です。

(3-17) 姫路大学サッカー部の設立

姫路大学では、デフ（ろう者）サッカー部を設立し運営する計画です。このデフ（ろう者）サッカーとは、聴覚障がいのある人が行うサッカーのことです。

姫路大学教育学部通信教育課程の学修制度を活用し、聴覚障がいを持つ学生に向け、修学支援および課外活動の支援を行う計画です。

また、あわせて地域貢献活動への展開も図る予定です。

- (3-12) 姫路大学グローバルゲートウェイの運営及び学生の語学留学
姫路大学では、グローバルゲートウェイの一環として、学生の異文化理解能力を向上するための教育学習プログラムの構築、国際交流支援システムの構築を計画しています。
コロナ禍の終息後を見据え、語学留学引率など検討を進めています。
- (3-13) 姫路大学と香港理工大学のMOU締結および短期留学受け入れプログラムの実施
姫路大学では、コロナ禍により延期となっていた、香港理工大学とのMOUの締結を進め、グローバルゲートウェイの一環として、短期留学受け入れプログラムの実施を計画しています。

>>施設設備等に関する事業

法人部門

- (3-1) 人事給与システムサーバの入替
平成25年に設置した人事給与システムサーバのハード本体とOSの保守期間終了に伴い、給与支払業務での不具合等発生による影響を抑制し、万全な作業環境を維持できるよう人事給与システムサーバの入替を計画しています。
- (3-2) 勤怠システムのバージョンアップ
平成25年導入の勤怠システムe3 office V8のソフトウェア保守の終了を受け、不具合等の発生を抑制し、勤怠管理業務と利用する全教職員の通常業務に対して万全な作業環境が維持できるよう、勤怠システムのバージョンアップ及びカスタマイズを実施する計画です。

姫路大学整備関係事業

- (3-6) 姫路大学事務系ネットワーク機器・教学系サーバ更新
姫路大学および豊岡短期大学のサーバは平成27年度に導入し、6年間使用しておりますが、保守期間が終了する機器があり、異常稼動とセキュリティ上のリスク回避のため、事務系ネットワーク機器と姫路大学の教学系サーバを更新する計画です。
- (3-7) 姫路大学体育館排煙窓の駆動部取替修理
姫路大学の体育館は、老朽化による排煙窓の駆動部に多数箇所の不具合を生じており、新型コロナウイルス感染症対策の観点からも、換気が重要なため、部品などの取替修理を計画しています。
- (3-8) 姫路大学講義室設置用ノートパソコン入替
姫路大学の講義室に設置しているノートパソコンのOSサポート終了に伴い、今後の円滑な授業運営のため、講義室設置用ノートパソコンの入替を計画しています。
- (3-18) 姫路大学通信教育事務部UniVisionシステム機器更新
姫路大学通信教育事務部の教務システムUniVisionで使用しているOCR機器の保守期間が終了したため、新機種への入替を計画しています。

(3-19) 姫路大学通信教育事務部システム改修

姫路大学通信教育事務部では、専門学校・学生機能についてシステムのオープン化を計画し進めておりますが、対応するブラウザについて範囲を広げるため、教務システムの改修を計画しています。

豊岡短期大学整備事業

(3-20) 豊岡短期大学姫路キャンパス 2号棟トイレ排水管改修工事

豊岡短期大学姫路キャンパス棟（旧2号棟）3階トイレの排水管を修理する計画です。壁中埋込式配管のため、壁面復旧も併せて行います。

(3-21) 豊岡短期大学高圧設備機器不良第5期修繕（全5期）

豊岡短期大学の高圧電気設備は、30年以上使用し経年劣化が激しく、年次計画として設備の入替を計画しており、本年度は第5期（完了）工事を行う計画です。

(3-24) 豊岡短期大学TtLeS改修について

豊岡短期大学通信教育事務部の教務システム「TtLeS」において、認定科目修得制度に関するコースの新設と既存データの移行、また現在シェア率が最も高いGoogleChromeへのブラウザ対応を追加するために必要なシステム改修を計画しています。

(3-25) 豊岡短期大学TtLeS(UniVision)サーバリプレイス

豊岡短期大学通信教育事務部の教務システム「TtLeS」用のサーバについて、延長保守対応ができなくなるため、入替を計画しています。

サーバ本体は、卒業記念品事業において計画中であるため、データ移行など環境構築費用について計画しています。

>>学生のキャリア支援に関する事業

(3-9) 姫路大学看護師国家試験対策

看護学部の重要課題は看護師国家試験対策にあります。看護師国家試験合格率100%を目指し、看護学部全学年の全学生を対象として、集中講義ゼミや模擬試験を行うとともに、特に4年生には個々の学生の学習進度に応じ、補講や個人指導などをきめ細かく行っていく計画です。

(3-10) 姫路大学教員採用試験対策に伴う対策講座及び学生支援

教育学部の重要課題は教員採用試験対策にあります。学内においては3年生を対象に教員による面接指導や模擬授業指導および筆記試験対策を行ってまいります。加えて教員採用試験本試験を見据え、学習の最終チェックや弱点補強に学外の模擬試験や講座などを取り入れ、きめ細かな学生支援を行っていく計画です。

また、遠方での受験に対して、学生の経済的負担軽減の観点により、二次試験以降の交通費等の補助を引き続き行う計画です。

>>学術・研究関連事業

(3-11) 姫路大学附属健康・教育実践研究センター市民公開講座

姫路大学附属健康・教育実践研究センターでは、「子どもから高齢者まで、健康と発達の向上にむけた研究および支援方法の開発を行い、相談活動や健康教室、講座等を通して地域社会に貢献すること」を目的とした啓発活動を行うため、市民公開講座を計画しています。

この公開講座により、大学が使命とする社会や地域への支援や貢献を果たすとともに、研究成果を広く公開することで、地域社会への知の還元を図ることが可能となります。

前年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、開催を断念しましたが、令和3年度は、感染防止対策を徹底のうえ市民公開講座を開催し、社会や地域への支援・協賛を行っていく計画です。

>>地域貢献等を目的とする事業

(3-14) 姫路大学地域貢献連携事業

姫路大学の”ブランディング・アップ”を目標に掲げる事業として、主に3本の柱を軸とした活動を計画しています。

- 【1】 高大連携事業をはじめとする、地域に密着した教育に関する活動
- 【2】 姫路市周辺の自治体・企業との行動参画活動
- 【3】 広報活動

(3-23) 豊岡短期大学和花季ひろばの開催

豊岡短期大学では双方向的表現活動による異世代間交流として、但馬地域のこどもたちと保護者、本学学生が集い、学習の成果発表を行う「育ちあいのなかまづくり」と、地産地消をテーマに地元但馬・丹後地域の魅力ある食を地域住民とともに楽しむ催し物「食のフェア」を、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底のうえ実施する計画です。

③ 経常的経費による活動

- ・ 姫路大学と豊岡短期大学では、「高等教育の修学支援新制度」の支援対象機関として認定されました。
この制度の他にも、授業料等を減免する形で、様々な本学園独自の奨学金制度を設け、学生の修学サポートを行っています。
- ・ 認定こども園では、外国人講師と常時接することにより、幼児期からのバイリンガル教育を行い、広く国際感覚を育成しています。
また、茶道を保育に取り入れ「和の文化」にも触れ、礼儀作法を身に付けるなど特色ある教育・保育を行っています。
その他にも、園庭開放や親子教室など、地域の子育てに関する支援事業を行う予定です。

(4) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りです。

- 1、姫路大学教育学部 学科改編（通学・通信）構想
- 2、姫路大学農学部畜産学科（仮称）の設置構想
- 3、通信制高等学校設置構想

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増 減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要
学生生徒等納付金収入	2,064,941	2,083,595	△18,654	2,021,355	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	48,817	49,439	△622	55,024	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	100	△100	0	
補助金収入	412,594	438,550	△25,956	392,880	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	26,277	18,739	7,538	14,674	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	41	41	0	40	・受取利息
雑収入	25,044	39,477	△14,433	24,969	・コピー代等その他の雑収入
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	300,211	306,935	△6,724	294,871	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	61,612	43,630	17,982	72,680	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△316,035	△324,062	8,027	△301,439	・前期末前受金、期末未収入金
前年度繰越支払資金	1,083,561	1,157,293	△73,732	1,266,275	・前年度末の現金預金
収入の部合計	3,707,063	3,813,737	△106,674	3,841,329	

支出の部	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増 減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要
人件費支出	1,647,042	1,654,137	△7,095	1,678,854	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	684,181	710,853	△26,672	634,355	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	274,701	255,061	19,640	255,882	・学生募集経費等管理的経費
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	0	14,928	△14,928	21,882	
設備関係支出	33,339	50,707	△17,368	11,626	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	1,000	0	1,000	0	・出資金に関する支出
その他の支出	133,635	135,886	△2,251	176,938	・前期末未払金の支払等
予備費	10,000	10,000	0	0	・予備費
資金支出調整勘定	△112,275	△101,395	△10,880	△95,501	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	1,035,440	1,083,561	△48,121	1,157,293	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,707,063	3,813,737	△106,674	3,841,329	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものであります。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科目	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要	
①教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,064,941	2,083,595	△18,654	2,021,355	・授業料、入学金、実習料等の納付金	
		手数料	48,817	49,439	△622	55,024	・入学検定料等の手数料	
		寄付金	0	695	△695	3,647		
		経常費等補助金	412,594	433,638	△21,044	391,332	・国庫補助金等(施設整備関係除く)	
		付随事業収入	26,277	18,739	7,538	14,674	・補助活動収入他	
		雑収入	25,044	39,309	△14,265	23,780	・コピー代等その他の収入	
		教育活動収入計	2,577,673	2,625,415	△47,742	2,509,812	◎経常的な教育活動に関する事業活動収入	
事業活動支出の部	事業活動支出の部	科目	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要	
		人件費	1,678,511	1,672,593	5,918	1,688,374	・本俸他、退職給与引当金繰入額	
		教育研究経費	929,165	956,448	△27,283	889,456	・教材等教育研究経費及び減価償却	
		管理経費	309,994	290,302	19,692	294,613	・教研費以外の管理経費と減価償却	
		徴収不能額等	0	0	0	0		
		教育活動支出計	2,917,670	2,919,343	△1,673	2,872,443	◎経常的な教育活動に関する事業活動支出	
教育活動収支差額			△339,997	△293,928	△46,069	△362,631	教育活動における事業活動収入と支出の差額	
②教育活動外収入の部	収入の部	科目	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要	
		受取利息・配当金	41	41	0	40	・預金利息他	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0		
		教育活動外収入計	41	41	0	40	◎経常的な財務活動に係る事業活動収入	
支出の部	支出の部	科目	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要	
		借入金等利息	0	0	0	0		
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0		
		教育活動外支出計	0	0	0	0	◎経常的な財務活動に係る事業活動支出	
教育活動外収支差額			41	41	0	40	財務活動における事業活動収入と支出の差額	
④ 経常収支差額			△339,956	△293,887	△46,069	△362,592	特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額	
③特別収入の部	収入の部	科目	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要	
		資産売却差額	0	0	0	0		
		その他の特別収入	0	7,999	△7,999	6,941		
		特別収入計	0	7,999	△7,999	6,941	◎特殊な要因による臨時的な事業活動収入	
	支出の部	支出の部	科目	R3年度予算	R2年度予算(補正)	増減	参考値(R元年度決算)	令和3年度予算概要
			資産処分差額	1,915	2,429	△514	2,133	・固定資産の除却・廃棄損
		その他の特別支出	0	69	△69	21		
	特別支出計	1,915	2,498	△583	2,155	◎特殊な要因による臨時的な事業活動支出		
⑤ 特別収支差額			△1,915	5,501	△7,416	4,787	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額	
〔予備費〕			10,000	10,000	0			
基本金組入前当年度収支差額			△351,871	△298,386	△53,485	△357,805	◎事業活動収入と支出の差額と等しい	
基本金組入額合計			△15,316	△44,111	28,795	△28,241	・第1号基本金及び第4号基本金	
当年度収支差額			△367,187	△342,497	△24,690	△386,046		
前年度繰越収支差額			△3,636,486	△3,293,989	△342,497	△2,907,942		
基本金取崩額			0	0	0	0		
翌年度繰越収支差額			△4,003,673	△3,636,486	△367,187	△3,293,989		
(参考)								
事業活動収入計			2,577,714	2,633,455	△55,741	2,516,793		
事業活動支出計			2,929,585	2,931,841	△2,256	2,874,598		

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 事業活動収支とは

事業活動収支とは、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を事業活動支出とし、この収入と支出について事業活動の内容により区分して計上し、基本金組入後の収支の均衡状態を明らかにすることを目的として作成するものです。

事業活動の区分は、①教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と②教育活動外収支（経常的な財務活動等）と③特別収支（特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支）の3つに区分されます。

また、①と②は経常的な経費として経常収支に区分し、特殊な要因（特別収支）を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額を④経常収支差額とし、③特別収支は臨時的な事業活動収入と支出の差額を、⑤特別収支差額として明示しています。

※ 10 ページの②事業活動収支予算の状況に、区分ごと①～⑤まで番号を表示

③ 予算概要の説明

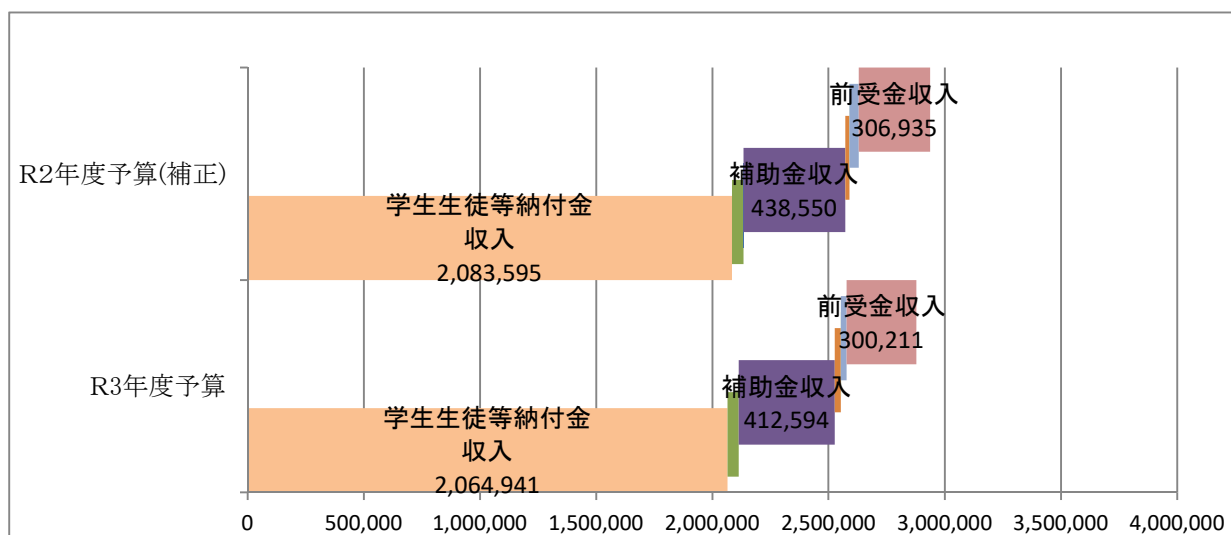
資金収支予算について

令和3年度の資金収支予算は、続くコロナ禍で、入学者数の見込みを低く予測したことを含め収入は前年度補正予算より減少の見込みとなり、人件費をはじめとする支出経費の見直しと抑制を図ってはおりますが、翌年度に繰越することになる、現金預金（翌年度繰越支払資金）は、減少する見込みです。

令和3年度資金収支予算における翌年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の保有見込額は、参考値の令和元年度決算から1億2千1百万円の減少、前年度補正予算から4千8百万円の減少が見込まれ、10億3千5百万円となります。

（単位：百万円未満切捨）

資金収支収入予算における前年度収入予算（補正）との比較



単位：千円

事業活動収支予算について

令和3年度の事業活動収支予算は、続くコロナ禍で、入学者数の見込みを低く予測したことを含め収入は前年度補正予算より減少の見込みとなり、人件費をはじめとする支出経費の見直しと抑制を図ってはおりますが、単年度の収支差額は、支出超過の状態が見込まれます。

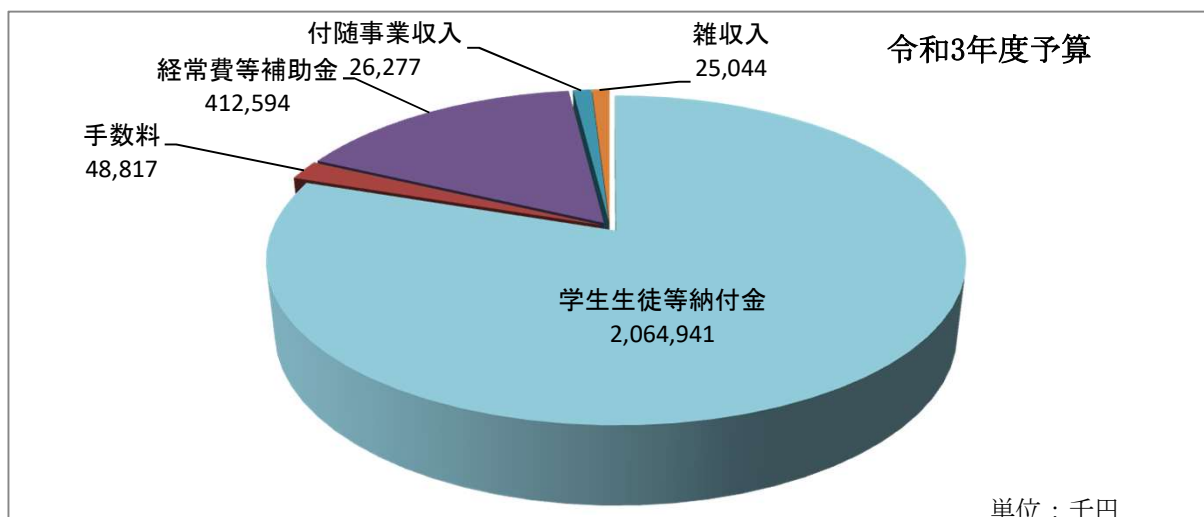
令和3年度事業活動収支予算における経常収支差額（教育活動収支と教育活動外収支の差額の計）は、△3億3千9百万円です。こちらに特別収支差額と予備費を加えた、基本金組入前当年度収支差額は、△3億5千1百万円となる予測です。

この差額に基本金を組入した当年度収支差額は、△3億6千7百万円となり前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、△40億3百万円の累積の支出超過となる予測です。

認証評価の結果と中長期計画をもとに、入学定員の充足を図り、学納金以外の収入獲得に努め、人件費を含む各種経費の見直しと抑制を行い、まずは単年度収支の改善を図り、翌年度繰越収支差額における支出超過の圧縮に努めます。

(単位：百万円未満切捨)

事業活動収支予算における収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

